

請願 2 件採択 請願 7 件は不採択 となりました

がまだできていない戸数が三十戸余り残っているが、今後の改修計画は。

産業建設部長 坂野地区

では、ミゾロ団地十七棟三十四戸が未改修の状態である。現在、新年度の予算要求をしている時期で、住宅入居者の住環境の整備は担当課としても常に危惧しており、早期

に実現をするための予算の確保に努力している。

野積みされた土砂の解決策は

高木 立江町市立体育館

付近と、間新田町ヤケ木に野積みされている土砂問題について、今後どのように解決していくの

か。

市長 七月十八日に関係

の皆さん方に寄っていた

とき、今後どうするかと

いうことであったが、そ

の業者は出席していただ

けなかった。あくまで、

違法に堆積しているのは

業者であり、その業者み

ずからが土砂を撤去する

のが通常である。

それが、何よりも最優先さ

れることではないかと考

えるが、いかがか。

市長 行政、特に私に課

せられた最重要課題とし

て、市民の皆さん方の安

全・安心な暮らし、まち

づくりをすることに取

組んでいかなければなら

ないと考えている。

池淵 市民の皆さんの安

全・安心を守ることこそ

最重要課題というような

答弁ですが、県の方では、

「しつかり！ぼう債」と

いった起債、今年度は公

共施設の耐震化に必要な

費用を県民から直接起債

を受けて、早急な耐震化

事業を行うものとして打

ち出している。本市にも

導入を考えてはどうか。

市長 市民の行政参加意

識の高揚、住民参加型市

場公募債の発行は魅力

的なところもあるが、今

現在、本市の置かれてい

る財政状況を考えてみれ

ば、少し取りつきにくい

こと等もあろうかと思

うが、今後、真剣に検討し

ていく。

採 択

願号 「非核日本宣言を求める意見書の採択に
請 2 関する」件について

願号 「公的年金控除、老年者控除・定率減税
請 10 の縮小・廃止をやめ、もとに戻す」件に
ついて

不 採 択

願号 「乳幼児医療費助成の拡充を求める」件
請 3 について

願号 「乳幼児医療費助成の拡充を求める意見
請 4 書を提出する」件について

不 採 択

願号 「後期高齢者医療制度に関する」件につ
請 5 いて

願号 「教育条件の整備に関する」件について
請 6

願号 「児童扶養手当減額の見直しを求める」
請 7 件について

願号 「医師・看護師などを大幅に増員するた
請 8 めの法改正を求める」件について

願号 「国の責任で「消えた年金」問題を早急
請 9 に解決すること及び最低保障年金制度の
実現を求める」件について

意見書三通を

関係大臣に

送付しました



「非核日本宣言」を求める意見書（抜粋）

核兵器のない平和で公正な世界を実現するために、今、大きな努力が求められている。

小松島市は「憲法を守り人間を尊重する平和都市宣言」を行い、国内外の平和を愛する人たちとともに非核・平和を訴え、この地球から核兵器をなくそうと取り組んでいる。

よって、小松島市議会は、政府に対し「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則の厳守」をあらためて国連総会や日本の国会など内外で宣言し、非核日本宣言として各国政府に通知し、核兵器のない世界のための共同の努力を呼びかけるよう求めるものである。

いじめ・不登校対策のための 施策を求める意見書（抜粋）

文部科学省は、昨年いじめを苦にした自殺が相次いだことを受け、いじめの定義や国私立学校も対象に加えるなど調査方法を見直した結果、いじめの件数が前年の二万件から十二万五千件と六・二倍に大幅増加した。

一方、不登校は主に小・中学校で深刻化しており、学年が上がるにつれて増加する傾向にある。

いじめや不登校で苦しんでいる子どもたちに、どう手を差し伸べてあげるのか。具体的施策を可及的速やかに実施すべきである。

よって政府におかれては、子どもたちの笑顔と希望あふれる教育環境づくりのために、次の事項について実現することを強く要望する。

- 一、「いじめレスキュー隊」（仮称）の設置の推進
- 二、「ほっとステーション」（仮称）づくり
- 三、「メンタルフレンド制度」の実施

公的年金控除、老年者控除、定率減税の 縮小・廃止をやめ、もとに戻す意見書（抜粋）

一、公的年金控除が、二〇〇五年から縮小され、その最低保障も百四十万円から百二十万円にされ、その結果、年金「収入」額が増えていないのに、課税「所得」額が増えることになった。

二、また、同時に老年者控除（所得税五十万円、住民税四十八万円）が廃止された。三、そして二〇〇六年には定率減税が半減、二〇〇七年には廃止された。

四、低所得高齢者の住民税非課税措置が二〇〇六年度から廃止された。五、さらに二〇〇七年度は住民税の一〇％への一本化が実施されている。

高齢者人口が、日本全体の二〇％を超える状況の中、高齢者の最低生活を守るための租税政策がますます重要になっている。

よって、次の事項について意見書を提出する。

- 一、公的年金控除の縮小をやめ、もとに戻すこと
- 二、老年者控除の廃止をやめ、もとに戻すこと
- 三、定率減税の廃止をやめ、もとに戻すこと

議員の賛否表（12月定例会）

議案・請願・陳情・意見書	議員名																		
	安平 剛之	濱田 保徳	北野 恒男	井村 保裕	池淵 彰	宝 覚	天羽 篤	武田 清	石原 正裕	立川 邦男	木村 文彦	出口憲 二郎	高木 幸次	大木 進	宮崎 欽司	佐野 善作	米崎 孝	井内 建治	
議案第54号 平成18年度小松島市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号 平成18年度小松島市自動車運送事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号 平成18年度小松島市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号 平成18年度小松島市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号 平成18年度小松島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号 平成18年度小松島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号 小松島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号 小松島市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
諮問第1号 元職員への損害賠償請求に対する異議申立てに係る諮問について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●	●
請願第3号 「乳幼児医療費助成の拡充を求める」件について	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第4号 「乳幼児医療費助成の拡充を求める意見書を提出する」件について	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第5号 「後期高齢者医療制度に関する」件について	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第6号 「教育条件の整備に関する」件について	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第7号 「児童扶養手当減額の見直しを求める」件について	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第8号 「医師・看護師などを大幅に増員するための法改正を求める」件について	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第9号 「国の責任で「消えた年金」問題を早急に解決すること及び最低保障年金制度の実現を求める」件について	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●

※下記については、全議員の賛成により議案については可決、請願については採択されました。

議案

第68号 平成18年度小松島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について、第69号 平成18年度小松島市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、第71号 平成18年度小松島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について、第72号 平成18年度小松島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、第75号 平成19年度小松島市一般会計補正予算(第2号)、第76号 平成19年度小松島市老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号)、第77号 平成19年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、第78号 平成19年度小松島市介護保険特別会計補正予算(第1号)、第79号 小松島市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例について、第81号 小松島市防災会議条例の一部を改正する条例について、第83号 市道の路線の認定について、第84号 市道の路線の変更について、第85号 工事請負契約の変更について、第86号 字の区域の変更について、第87号 小松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、第88号 固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について

請願

第2号 「非核日本宣言を求める意見書の採択に関する」件について、第10号 「公的年金控除、高齢者控除・定率減税の縮小・廃止をやめ、もとに戻す」件について

議員提出議案

第7号 「非核日本宣言」を求める意見書について、第8号 公的年金控除、高齢者控除・定率減税の縮小・廃止をやめ、もとに戻す意見書について、第9号 いじめ・不登校対策のための施策を求める意見書について、第10号 一般廃棄物処理業務委託契約に関する意見書について

○は賛成 ●は反対 ※議長(大和 肇)は、可否同数の場合のみ表決権があります。

今がチャンス



大木 進
(芝生町)
当選3回

徳島県の糖尿病死亡者率全国一位。小松島市の介護保険料は他市町村と比べ約二倍の県下第二位。市の財政は非常事態宣言。大変なことばかりです。しかし、小松島市は大変なことを踏まえ、大きく変革しようとしております。真剣に変えようとしております。

私事で何かしら重なるところがありますので照会します。実は医師より、貴殿は糖尿病で、かなり進んでおりますと診断された時は、目の前が真っ暗になり大変なショックを受けました。治るのだろうか悩みました。しかし、悩んでいても仕方がないと自身が開き、医師の指導を受け、実行していくうち、うれしいことに少しずつ数値が下がり、今は以前より快適な生活が送れています。その時は医師の指導を真剣に聞き実行しました。十年後、二十年後の健康にも希望が持てます。何としても自分を変えたいとの強い決意と、それを決意させた病のお陰。大変な時、その時、今がチャンスととらえ、変えようと決意できた時にこそ、本当の改革ができるかと確信します。私もこうした決意で市の行財政改革に努力してまいります。

私の政治信条

『弱者切り捨ての改革は許さない』



木村 文彦
(中郷町)
当選3回

小泉構造改革〔三位一体改革〕以来、弱肉強食の社会になったと言っても過言ではない。生存権をうたう憲法第二十五条では「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあります。今や生存権の保障もままならない人たちが社会にあふれている。市民は増税に次ぐ増税で日々の生活も苦しい。反対に法人税の緩和により弱者の労働賃金が激減したにもかかわらず、大手銀行などの役員らの報酬は一・五倍近くにまで跳ね上がった。非正規（派遣）労働者が増え、ピンはねが横行する社会、国の仕組み自体、歪んだ構造である。ライブドア事件に象徴されるように、マネーゲームで億万長者になる一握りの人がいれば、一方で北九州市では昨年、生活保護受給者が自治体から強制的に保護費を打ち切られて、飢えと渴きで亡くなった。格差社会が生んだ甚だしい現実である。市民全てが健康で文化的な生活を営めるように格差のない自治体の構築をめざし、弱者切り捨て社会を阻止します。

視察に来市された議会

議会名 静岡県熱海市議会
日時 平成19年10月25日
参加者 議員4名
調査事項 行政改革について

議会名 福井県鯖江市議会
日時 平成19年11月20日
参加者 議員5名
調査事項 議会運営について
夜間議会について

編集委員



北野 天羽 井村 濱田 安平 池淵 佐野
大和 立川 出口

平成20年3月定例会日程

月日	曜	開議時刻	議事	備考
3月6日	木	午前10時	開会（議案提出）	
10日	月	午前10時	質疑・一般質問	
11日	火	午前10時	質疑・一般質問	
12日	水	午前10時	質疑・一般質問	
13日	木	午前10時	委員会審査	総務委員会
17日	月	午前10時	委員会審査	文教厚生委員会
19日	水	午前10時	委員会審査	産業建設委員会
24日	月	午前10時	議決・閉会	

編集後記

「小松島市がトップ」新春からうれしいニュースが飛び込んできました。徳島駅伝初日、小松島市チームが首位。徳島駅伝始まって以来の記録です。市民に大きな感動を与えていただきました。来年を大いに期待するものです。さて、議会だよりは「読んでもらえる」をモットーに編集しています。駅伝はチームワークが勝負のカギを握っています。編集委員も一致団結し、市民に親しまれる紙面づくりをめざしてがんばります。

(天羽 篤)